

おそきの学校と地域を考える会(以下、考える会) 平成26年度事業

1. 「おそきだより」の発行

平成26年度は、青梅市予算での印刷が認められました。考える会による編集、第6支会の協力による小曾木地区全戸配布での発行を継続します。

2. 「おそき いいところ再発見!!」事業の実施

平成26年度は、「おそき いいところ再発見!!」事業が青梅市市民提案協働事業として採択(承認)されました。小曾木地区の子ども達からご高齢の方



市民提案協働事業のプレゼン

まで、みなさんがより元気になる事業の実施に加え、地域内外の方々に小曾木地区の良さを情報発信し、より多くの方に地域に興味を持っていただき、できるならより多くの方に住んでいただく事業を青梅市の市民活動推進課、住宅課と協働で実施します。

- ①地域情報、イベント情報、地域PRの発信の強化。
 - ・ブログでの地域紹介、フェイスブック新規利用
- ②「小曾木っ子まつり」へ地域内外の方々に来ていただくPRを強化。その場での地域PRも実施。
- ③芋ほり&芋煮会イベントの開催
 - ・地域内農地を利用しての地域PR
- ④「小曾木っ子お餅つき」へ地域内外へのPR強化。
- ⑤小曾木地区の空き家等の活用方法の検討および情報発信

3. 「考える会」の開催

- ①開催予定日の年間予定を作成
7/22, 10/15, 1/20, 3/12 の4回開催予定。
今年度事業の準備、おそきだより内容検討、時期に適した内容のテーマによる意見交換、講演会等。

4. 「おそき一斉メール」の配信

地域予定、地域情報、地域緊急情報などを発信

5. 学校の発展へつなげる事業

6. 地域福祉の向上、地域活性化へつなげる事業

それぞれの事業を通じ、より住みたい地域を目指します!

小曾木地区空き家賃貸希望物件の募集!!

今年度の青梅市住宅課と考える会の協働事業として、小曾木(富岡、小曾木、黒沢)地区の空き家活用方法を検討しています。青梅市の調査結果として、青梅市には1,195軒、小曾木地区に71軒の空き家があることが公表されています。

考える会では、ここまでの情報収集結果から小曾木地区への居住希望者は少なくない実態を把握しております。今年度事業として、考える会の地域紹介ブログを用いての地域PR、空き家情報のPR、東京都の空き家活用モデル事業による改修工事(補助金限度額100万円、工事費の1/3まで)の積極利用による空き家の賃貸化を進めます。この事業は市内でも小曾木地区を推進モデル地区として実施するものです。

この事業に関心がある空き家の所有者の方を募集しております。現在、関係団体と調整・準備が進行中です。考える会事務局(osokinogakkou@gmail.com または若林 090-2173-9267)まで連絡願います。

◎「おそき一斉メール」に登録を!!

地域情報を週1回程度、また、緊急時に地域情報を登録された方に無料でメール配信しています。

下記アドレスに空メールを送ると登録できます。

osokinogakkou@gmail.com

◎ ブログで地域情報の発信をしています。

「おそきだより」よりも詳細で早い情報の発信となっています。[おそきの学校](#)で検索できます。

◎ おそきだよりへの記事、行事、写真等の紹介をお願いします

ご連絡はおそき一斉メールアドレスへメール、または、小曾木市民センターへお願い致します。



1面表題脇のカワラヒワ(河原鶉)の写真

富岡1丁目の乙黒地区に見られる野鳥にカメラを向け、多数の写真展に入賞されている富岡1丁目在住の山崎弘さんご提供の「乙黒地区野鳥の四季シリーズ」を掲載しています。

編集後記

5月18日に行われた「小曾木っ子まつり」におやじの会の一員として、流しそうめんコーナーに参加してきました。初めて流しそうめんを体験した子供たちも多く皆、目を輝かせながら美味しそうにそうめんを食べていたのがとても印象的でした。子供たちの笑顔を見る事が出来、このコーナーをやったほんとに良かったと思いました。

さて、この「おやじの会」ですが平成20年に七

小の前斎藤校長先生と約20名の有志で立ち上げ、今年で7年目になります。新しいメンバーに加え、お子さんが卒業しても尚、この会に残り活動してくれる方も何人もいて本当に嬉しいかぎりです。

今回この「小曾木っ子まつり」に参加して感じたことは、さまざまな団体が一つになって地域のために活動出来る環境こそがこの小曾木地区の力になっていくと思いました。これからも各団体が末永く活躍される事を願っています。

(市川洋治)